

# 小学生と 一緒に 小学生101人挑戦を

## 6日から市内南北100kmコースで

(続報)小学生が尾道市内の南北コースを4泊5日で歩く第5回「おのみち100km徒歩の旅」が6日、スタートする。【幾野伝】

「出会いや挑戦する勇氣を持ち、生きる力を持ってもらいたい」と、おのみち100km徒歩の旅実行委員会 柿本和彦実行委員長が主催、広島県や尾道市、山陽日日新聞社などが後援する。今年、市内内外からの応募140人の中から、抽選で選ばれた4年～6年生の101人(別表)がエントリーポランテアの大学生リーダー59人と寝起きをともし、設定された100kmの道のりに挑戦する。

学生ポランテアは尾道大学、広島大学など県内4つの大学から59人が参加、5月から研修を重ねてきた。

初日6日は午前8時から千光寺公園グラウンドで結団(出発)式を開く。実行委員長で団長の柿本さん、来賓の半田光行教育長があいさつ。広島原爆の犠牲者に黙祷、児童代表と学生リーダーが決意表明する。

ルートは午前9時に出発し西国寺、浄土寺、瑠璃山展望台、三成小泊▽7日本ノ庄東小、御調町普

野、御調西小泊▽8日道の駅、木ノ庄西小、びんご運動公園、日比崎小泊▽9日向島三幸小、因島大浜公民館、因島大橋記念

公園、マリンユースセンター泊▽最終日10日高見山山頂、向東小、住吉神社、尾道駅前広場でゴール、西御所上屋で解団式

の予定。  
「沿道での盛大な声援をお願いします」と実行委員会は市民に協力を呼び掛けている。